

資料1

後期実行計画概要

上手に使おう 集会所事業

集会所の利活用を後押しすることで、地域の中で顔の見える人と人とのつながりを形成し、地域コミュニティの活性化を目指します。

これまでの課題や総合計画審議会委員からの意見など

- ・活用事例の増加
- ・活用事例の周知
- ・子育て支援
- ・共働き支援
- ・顔の見える関係を活かした事業展開
- ・区長、自治会長の負担軽減

構想1 人、地域、活動をつなげる

後期計画に向けた変更点など

- ・積極的なコーディネート
- ・区、自治会と市民活動のマッチングの推進
- ・活用事例を区、自治会と共有
- ・活用方法のメニュー化の検討
- ・日本工業大学や共栄大学との連携
～高齢者向けパソコン講座や
夏休み宿題お助け教室などの検討～



- ・地域の取組みもっとPR
- ・こどもから高齢者まで、多くの世代へ活用を広げる

学園台のお喋りサロン

地域敬老会 支援事業

構想1 人、地域、活動をつなげる

これまでの課題や総合計画審議会委員からの意見など

後期計画に向けた変更点など

参加しやすい地域単位での敬老会の開催へと移行を進めます。元気な高齢者が活躍でき、働き盛りや子育て世代、子供たちを巻き込んだ幅広い世代交流で、地域のつながりづくりのきっかけになるよう、事業を推進していきます。

- ・町内79地区中60地区において開催、さらに多くの地域での開催を目標
- ・主催者の負担軽減
- ・顔の見える関係を活かした事業展開
- ・利用しやすい補助制度

・各地区の事例紹介
未開催の地区への開催のきっかけとなるよう、ささやかな開催から凝った趣向の敬老会まで幅広く各地区の事例を周知する。動画による紹介も検討します。

・地区、自治会と市民活動のマッチング
実行計画事業「市民、活動、地域資源の縁結び事業」と連携し、地区、自治会と市民活動（文化団体など）とのマッチングをはかり、催しものの検討を支援します。

西原団地
敬老会



- ・全地区で開催！
- ・目指せ1500人参加！

構想1 人、地域、活動をつなげる

市民の活動をつなぐ インターネット放送局 開局事業

町内で行われている様々な活動を市民特派員が取材し、動画で公開する仕組みを構築し、運営する事業です。

これまでの課題や総合計画審議会委員からの意見など

- ・多くの方に見てもらう仕掛け
- ・動画の質向上
- ・他団体との連携
- ・他の実行計画事業との連携
- ・駅に近く土地が安いことをPR
- ・都内への出勤の便利さをPR

後期計画に向けた変更点など

- ・地域敬老会や地域交流サロンの取材や、みやしろ定住促進作戦と連携した情報発信
- ・市民活動団体や学校とも連携。

・広報、ツイッター、ホームページを連動させ町の魅力を内外にPR

※特にツイッターについては、1700を超えるフォロワー（町ツイッターの読者）があり、町外のフォロワーも多いことから、町外へのPRとして積極的にツイッターを活用する。



- ・事業と連動した情報発信
 - ・ツイッター（ミニブログ）と連携した情報発信
- ～情報をみんなで広めよう～

宮代型 観光推進事業

宮代町の立地性や資源を活かした宮代型の観光事業を展開し、交流人口の増加を図る事業です。農業体験事業、産直ウォーク、婚活事業など新しい村事業の実施や宮代町の資源を活用し、観光事業を行う主体の取り組みを支援します。

これまでの課題や総合計画審議会委員からの意見など

- ・個々の魅力ある資源を発見し組み合わせ観光資源化
- ・町ぐるみで観光に取り組む機運の醸成
- ・約50万人の東武動物公園客の活用
- ・新しい村の立て直し



構想2 交流人口を増やす

後期計画に向けた変更点など

- ・農業体験事業、産直ウォーク、婚活事業など新しい村グリーンツーリズム事業の実施
- ・観光プログラム実施主体連絡会の創設
新しい村、市民ガイドクラブ、商工会、山崎山エコクラブ、和e輪実行委員会、などを想定
- ・みやしろまるごと観光情報の発信
- ・改めて、農あるまちづくりの理念に基づいた事業を展開することができる仕組み、ルール、経営者・社員の意識や考え方(組織風土)といった経営基盤を強化します。

※前期実行計画事業の市民運営型の観光協会設立事業を宮代型観光推進事業に統合。観光協会設立事業で誕生した市民団体「市民ガイドクラブ」も含め観光を担う主体を支援していきます。

- ・新しい村を前面に町をPR
- ・地域資源を更に活かす

子育てちょっと・ ほっと・ひと息事業

町の子育て支援環境を充実させ、町外からの子育て世代の流入を図る事業。市民ボランティアを募り、市民が市民を支えるネットワークを構築します。

これまでの課題や総合計画審議会委員からの意見など

- ・子育てネットワークの構築
- ・共働き支援
- ・顔の見える関係を活かした事業展開
- ・子育て新施設「子育てひろば」の活用

構想3 定住人口を増やす

後期計画に向けた変更点など

- ・子育てひろばを拠点に新たな事業を展開
- ・子育てひろばのイベントの企画に参加者自らが関わることで、子育てネットワークを構築
- ・土日も開館する子育て広場を活かして共働き向けの支援も検討
- ・隣接するスキップ広場や進修館も活用し、おもちゃ交換会や衣服などのフリーマーケット、夏休みなどの長期休みの小学生などにも対応するイベントなどを検討



・子育て広場から新たなチャレンジ！

構想3 定住人口を増やす

みやしろ 定住促進作戦

これまでの課題や総合計画審議会委員からの意見など

後期計画に向けた変更点など

定住促進に特化したホームページ「みやしろで暮らそつ」を制作、住宅情報や町のイベント情報を発信する事業、合わせて転入希望者に対して、市内の公共施設などを案内するツアーを実施します。

- ・空き家情報の収集
- ・「駅に近く土地が安い」をPR
- ・「都内への出勤の便利さ」をPR

- ・ホームページの見直し
- ・東武線沿線への広告掲載の検討
- ・定住促進を図るための金銭補助制度の検討
- ・自治会等と連携した空き家情報の収集
- ・都内出勤経験者の声をホームページなどへ掲載

町内の催し、
お店情報



町内の不動産情報



宮代はじめてツアー



・ファミリー世帯の
定住促進



新規
事業

構想4 産業を結び、活かし、広げる

まちなかにぎわい、 起業創業支援事業

前期実行計画「グリーンツーリズムゾーン(町の顔)魅力UP事業」のソフト事業を継承し、起業創業者を支援することにより、まちなかににぎわいを作り出していきます。

これまでの課題や総合計画審議会委員からの意見など

- ・中心市街地の活性化
- ・空き店舗
- ・起業、雇用の拡大
- ・約50万人の東武動物公園客の活用

後期計画に向けた変更点など

- ・チャレンジショップ「宮代マルシェ」の開催。進修館周辺を会場とするマルシェ(定期市)を継続して実施し、起業創業者が小さなリスクでチャレンジできる環境を作ります。
- ・町融資制度の見直し検討
- ・開店支援制度の構築
- ・起業支援制度の構築
- ・空き店舗対策新制度の実施



- ・チャレンジショップで起業支援！
- ・空き店舗活用